

事 項	トルコギキョウの秋冬期（10～12月）出荷のための開花調節技術																														
ね ら い	<p>トルコギキョウは夜温が高いほど、また、日長が長いほど開花が促進される特性を持っている。このため市場価格の高い秋冬期出荷に向けた作型では定植時期が高温・長日条件となることから、早期に開花して出荷時期が早まったり、短茎で開花し切り花品質が低下する場合が多い。</p> <p>ハウス栽培における秋冬期出荷に向けた開花調節技術及び適品種が明らかになったので、普及に移す。</p>																														
指 導 奨 励 内 容	<p>1 は 種 4月中旬にセルトレーには種する。</p> <p>2 栽植様式 畦幅160cm、条間12cm、株間12cmの6条植え程度とする。</p> <p>3 定植期、短日処理期間、収穫期間 中生～晩生系品種を用い、これを6月中旬に定植した場合、定植から60日間程度短日処理を行う。短日処理は9時間日長となるよう17：00～翌朝8：00まで光を通さない被覆資材で、畦またはハウス全体を覆い暗黒条件で管理する。 10月以降は、開花を促進させるため、室温は最低15℃を確保し、16時間日長となるよう電照する。電照は、2.7mの高さに5㎡当たり75wの白熱灯を1灯設置する。</p> <p>4 適応品種 6月中旬に定植し、定植後60日間短日処理をした場合、以下の7品種が秋冬期の出荷に適する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>早晚性</th> <th>品 種 名</th> <th>収 穫 時 期</th> <th>花 色</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">中 生</td> <td>あすかの漣</td> <td>10月上～11月中</td> <td>白に青紫色の覆輪</td> </tr> <tr> <td>あすかの粧</td> <td>10月上～11月下</td> <td>白にピンクの覆輪</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">中晩生</td> <td>サマーキング</td> <td>10月中～11月中</td> <td>白に青紫色の覆輪</td> </tr> <tr> <td>リップルネビアピンク</td> <td>10月下～11月下</td> <td>ピンク</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">晩 生</td> <td>ベガバイドリーム</td> <td>10月上～11月下</td> <td>白に青紫色の覆輪</td> </tr> <tr> <td>つくしの薫</td> <td>10月下～12月上</td> <td>ピンク</td> </tr> <tr> <td>つくしの雪</td> <td>10月中～12月中</td> <td>白</td> </tr> </tbody> </table> <p>5 経 済 性 短日処理に要する経費は10a当たり935,643円（資材費＋施設費＋光熱費＋労賃）となる。収穫率を80%とすると普通栽培と比較して単価で29.2円以上の差があれば経済性がある。</p>			早晚性	品 種 名	収 穫 時 期	花 色	中 生	あすかの漣	10月上～11月中	白に青紫色の覆輪	あすかの粧	10月上～11月下	白にピンクの覆輪	中晩生	サマーキング	10月中～11月中	白に青紫色の覆輪	リップルネビアピンク	10月下～11月下	ピンク	晩 生	ベガバイドリーム	10月上～11月下	白に青紫色の覆輪	つくしの薫	10月下～12月上	ピンク	つくしの雪	10月中～12月中	白
早晚性	品 種 名	収 穫 時 期	花 色																												
中 生	あすかの漣	10月上～11月中	白に青紫色の覆輪																												
	あすかの粧	10月上～11月下	白にピンクの覆輪																												
中晩生	サマーキング	10月中～11月中	白に青紫色の覆輪																												
	リップルネビアピンク	10月下～11月下	ピンク																												
晩 生	ベガバイドリーム	10月上～11月下	白に青紫色の覆輪																												
	つくしの薫	10月下～12月上	ピンク																												
	つくしの雪	10月中～12月中	白																												
期待される効果	トルコギキョウの秋冬期の作付け拡大																														
普及上の注意事項	<p>1 ハウス等の施設栽培で利用する。</p> <p>2 気象条件により、収穫時期は変動することがある。</p> <p>3 その他の栽培管理は、慣行の栽培法に準ずる。</p>																														
担 当	フラワーセンター21あおもり 栽培開発部・普及技術部	対 象 地 域	県下全域																												
発 表 文 献 等	平成9～11年度 フラワーセンター21あおもり試験成績																														

【根拠となった主要な試験成績】

表1 短日処理期間による収穫時期と切り花品質 (平成10年 フラワーセあおもり)

品 種	短日処 理期間	収 穫 最盛期 (月日)	収 穫 株 率 (%)	切 り 花 長 (cm/本)	茎 長 (cm/本)	節 数 (節/本)	着 蕾 側枝数 (本/本)	開 花 + 花 蕾 数 (個/本)	切 り 花 重 (g/本)
あすかの粧 (中 生)	無処理	9/18	100.0	80.4	45.5	10.8	2.3	8.4	50.8
	30日間	10/3	100.0	83.3	49.3	13.1	2.3	9.4	55.0
	45日間	10/12	90.6	81.8	47.1	11.0	2.5	8.5	63.0
	60日間	11/2	88.9	105.3	66.7	19.0	2.3	8.0	82.1
	79日間	12/6	94.0	103.5	72.2	20.1	2.4	8.0	86.0
つくしの雪 (晩 生)	無処理	9/27	100.0	77.1	42.9	10.8	2.9	9.3	70.5
	30日間	10/12	100.0	91.1	55.2	14.3	2.9	9.0	91.3
	45日間	10/29	78.1	87.8	53.6	12.2	2.4	5.8	73.6
	60日間	11/13	100.0	106.0	74.2	18.9	2.7	7.8	100.6
	79日間	12/28	79.0	106.3	77.4	20.8	2.4	5.6	97.9

- 注1) 収穫最盛期は50%採花した日
 2) 平成10年6月11日～15日定植
 3) 最低室温15℃で管理

表2 収穫時期、切り花品質に及ぼす最低室温の影響 (平成10年 フラワーセあおもり)

品 種	最 低 室 温	収 穫 最盛期 (月日)	収 穫 株 率 (%/本)	切 り 花 長 (cm/本)	茎 長 (cm/本)	節 数 (節/本)	着 蕾 側枝数 (本/本)	開 花 + 花 蕾 数 (個/本)	切 り 花 重 (g/本)
あすかの粧 (中 生)	18℃	11/20	94.4	103.0	76.0	21.1	2.0	6.6	86.0
	15℃	12/8	72.2	102.6	74.5	21.3	1.9	6.8	69.9
	10℃	12/28	72.2	97.3	76.3	20.7	1.9	5.5	61.2
つくしの雪 (晩 生)	18℃	11/29	88.9	77.1	42.9	10.8	2.9	9.3	70.5
	15℃	12/23	83.3	91.1	55.2	14.3	2.9	9.0	91.3
	10℃	—	—	—	—	—	—	—	—

- 注1) 採花最盛期は50%採花した日
 2) 平成10年6月15日定植

表3 適品種の特性 (平成11年 フラワーセあおもり)

早晩生	品 種	収 穫 最盛期 (月日)	収 穫 株 率 (%)	切 り 花 長 (cm/本)	茎 長 (cm/本)	節 数 (節/本)	側枝数 (本/本)	開 花 数 (個/本)	花 蕾 数 (個/本)	切 り 花 重 (g/本)
中 生	あすかの漣	10/25	96	80.1	36.4	11.8	2.0	3.8	2.7	50.3
	あすかの粧	10/15	93	79.6	45.3	14.0	2.3	4.2	3.6	45.0
中晩生	サマーキング	10/29	95	85.4	47.7	13.7	2.0	3.9	2.5	50.7
	リップルネビアピンク	11/11	100	97.9	66.1	14.4	2.5	4.1	2.9	74.6
晩 生	ベガバイドリーム	10/20	98	91.0	55.0	13.0	2.4	4.2	3.8	49.3
	つくしの雪	10/27	96	76.6	46.7	13.0	2.3	4.2	2.9	48.6
	つくしの薫	11/15	91	86.0	59.5	13.4	2.1	3.3	2.8	46.5

- 注1) 収穫最盛期は50%採花した日
 2) 平成11年6月15日定植
 3) 最低室温15℃で管理
 4) 10月1日から4:00～8:00及び16:00～20:00まで16時間日長となるよう電照

経営収支 (10a当たり)

項目	内容	普通栽培(円)	短日処理(円)	積算内訳
粗収入	販売量(本) 切り花単価(円) 販売額(円)	32,000 74 2,368,000	32,000 107 3,424,330	40,000本定植、収穫株80% (収穫株率は、現地試験の結果より)
シ ェ ー ド に か か る 経 費	資 材 費			
	ハイメタリックシルバー		59,280	(1170m分) 15,200円(0.075 210m×100m) 1,170÷100×15,200=177,840 177,840円÷3年=59,280円
	ニトポール		3,300	(330本) 330本×@50=16,500円 16,500円÷5年=3,300円
	クリップ		5,350	(800個) 800個×@20=16,000円 16,000円÷3年=5,333円
	施 設 費	温風暖房機 電照装置		244,620 50,000
光 熱 費	A重油		194,953	(5,269 ^{リットル} 10/1~12/20) 1,391 ^{リットル} /264㎡ 1,000㎡÷264㎡×1391=5,269 5,269×@37円=194,953円
	電気使用量		294,140	(13,473kw 10/1~12/20) 電照分 75w×200個×8h÷1000=120kw 120kw×81日間=9720kw 9720kw×@28=272,160 温風暖房機分 5,269 ^{リットル} ÷4.9 ^{リットル} /h=1,075h 1,075h×0.73kw/h=785kw 785×@28×3台=21,980
労 賃			84,000	60h×2人×@700 60分/回(被覆、除覆)
	計		935,643	935,643÷32,000=29.2円
粗収入 - 経費		2,368,000	2,488,687	

- 注1) 短日処理栽培とは、定植後60日程度、短日処理を実施し11月~12月収穫を目的とした栽培。普通栽培とは短日処理を実施しない襲来の栽培
- 2) 切り花単価は青森県経済連平成7年~平成10年の販売実績より普通栽培は8月~9月、短日処理は10月~12月の平均単価
- 3) 収穫株率は平成11年に藤崎町の生産者ほ場において実施した現地試験の結果より(普通栽培80%、短日処理栽培85%であったため、一律80%で試算した)